

「簡易な施工計画」作成の注意点

総務省が進める「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」により、徳島県電子入札システムでは、平成29年7月1日より一太郎ファイルの取扱いができなくなりました。

このため、総合評価（簡易な施工計画）申請書（様式2）の標準様式をワードファイルに変更しています。

平成29年7月1日以降に簡易な施工計画を「一太郎」で作成して申請する場合は、**PDF形式に変換**して申請してください。

なお、簡易な施工計画をワードファイルで作成した場合も、なるべく**PDF形式にて提出**するようにしてください。

共同企業体名：

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R2徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事（担い手確保型）（着手日指定型）

評 価 項 目	「品質・施工の確認方法，管理方法」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
この工事は、徳島東環状線末広・住吉高架橋（仮称）のうち、本線部の橋脚2基を施工する工事である。 この工事の杭基礎は、鋼管杭の中掘工法（セメントミルク噴出攪拌方式）による杭構築を行うものであり、沈設時においては、「施工精度の確保」や杭の継ぎ手溶接における「品質確保」が求められる。 また、橋脚コンクリートは、杭と底版、躯体を一体化させる必要があることや、橋脚躯体の端部を円形に面取りした形状としていることなどから、杭頭部の施工、底版と躯体の打継部や隅角部の施工においては、初期ひび割れの抑制など、コンクリートの打設や養生に一層の工夫が求められる。 これらのことを踏まえて、次の全ての事項について具体的に記述すること。 ① 鋼管杭の中掘・沈設時における、「施工精度確保」のための具体的方策と実施方法 ② 鋼管杭の継ぎ手溶接における、「品質確保」のための具体的方策と実施方法 ③ 橋脚コンクリートの打設・養生時における、初期ひび割れ抑制の具体的方策と実施方法 ④ 橋脚コンクリートの配合や、その管理における、初期ひび割れ抑制の具体的方策と実施方法	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：_____

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R2徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事（担い手確保型）（着手日指定型）

評 価 項 目	「品質・施工の確認方法，管理方法」の適切性
---------	-----------------------

具 体 的 な 施 工 計 画

① 鋼管杭の中掘・沈設時における、「施工精度確保」のための具体的方策と実施方法

② 鋼管杭の継ぎ手溶接における、「品質確保」のための具体的方策と実施方法

③ 橋脚コンクリートの打設・養生時における，初期ひび割れ抑制の具体的方策と実施方法

④ 橋脚コンクリートの配合や，その管理における，初期ひび割れ抑制の具体的方策と実施方法

※A4版1枚（1ページ）に記入し，記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：_____

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R2徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事（担い手確保型）（着手日指定型）

評 価 項 目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画 この工事の区域は、両側が2車線の現道に近接し、周辺には店舗や集合住宅、学校もあることから、施工に際しては、店舗利用者や周辺住民の生活環境への配慮、現道の通行者（通学路）への安全対策等が求められる。 さらに、当該区域の北側の橋脚が完成しており、当工事の現場着手時には、南側の橋脚も完成予定であるなど、狭隘区域での施工となることから、この工事における工種全般に渡り、特段の事故防止対策が求められる。 また、この工事の施工においては、県民の建設産業への関心を深めるための取組（例：実際の施工現場を活用した作業体験等）を実施することとしている。 そのためには、取組の提案や提案を実施する際の関係機関との事前調整、安全確保等が求められる。これらのことを踏まえ、次の全ての項目について具体的に記述すること。 ① 現道の通行者（自動車、自転車、歩行者等）の安全確保のための配慮事項 ② 狭隘区域での施工における事故防止のための配慮事項 ③ 周辺環境への影響（騒音・振動・ほこり・汚泥の流出等）を軽減するための配慮事項 ④ 建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等 ※④の有効な取組については、その費用を変更契約の対象とする（入札額には含めないこと）。 ※④の申請について、受注後、関係機関等との事前調整の結果、実施ができないと判断できる場合は、受注者は「同等又は同等以上」の履行義務を負わない。	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：_____

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R2徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事（担い手確保型）（着手日指定型）

評 価 項 目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
① 現道の通行者（自動車，自転車，歩行者等）の安全確保のための配慮事項 ② 狭隘区域での施工における事故防止のための配慮事項 ③ 周辺環境への影響（騒音・振動・ほこり・汚泥の流出等）を軽減するための配慮事項 ④ 建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

＜記述上の留意点＞

共同企業体名：

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名： R〇〇 〇〇〇〇〇工事 ←※工事名が間違っていないか確認を！

評 価 項 目	「施工上の課題への対応」の的確性
具 体 的 な 施 工 計 画	
〇〇ということ（工事特性）に鑑み、〇〇する観点から、次の事項について記述すること。 ① 〇〇・・・ ② △△・・・ ③ ■■・・・ ④ ××・・・ ※①の項目についての記述に対して、②の項目で評価することはないので、 テーマに沿った記述になっているのか、再確認を！ 特に具体的な施工計画（「工程管理」の適切性に係る（補足：工程表）を除く。）を記述する枠（以下「記述枠」という。）内の文字の大きさの規格は10.5ポイント以上とする。 なお、「記述枠」の規格値は縦21.0cm、横17.0cm以内とし、55行以内で規格値以内の「記述枠」内にアンダーラインを使用しないで記述することとし、アンダーラインを使用して記述した箇所については、評価の対象としないので注意すること。 また、執行機関での印刷結果において、以下の項目に一つでも該当する場合は、「記述枠」内の全ての記述を評価の対象外とする。 ① 文字の大きさが明らかに10.5ポイントを下回る場合 ② 「記述枠」が縦・横いずれか一方でも規格値から5mmを超えて大きい場合 ③ 「記述枠」内に56行以上の記述がある場合 ④ A4版でない場合 ⑤ 指定の枚数を超えて記述している場合 注1：手書きの場合も同様とする。 注2：文字のうち、写真・図・表等（以下「図表等」という。）の表題、図表等と一体とみなすことができる名称等、また、英数字・単位・記号・カタカナ等は上記①の対象外とする。 注3：「記述枠」内に県が記載している文章については、テーマ番号以外は削除しても良いが、記載が残っている場合は、行数に含める。 注4：空白行は、行数に含めない。 注5：写真・図は行数に含めないが、表中の行は行数に含める。 ＜記述枠：縦21cm×横17cm以内に制限＞	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。